

平成 29 年 3 月 15 日  
第 17 号

新座市立歴史民俗資料館  
新座市片山 1-21-25  
TEL: 481-0177

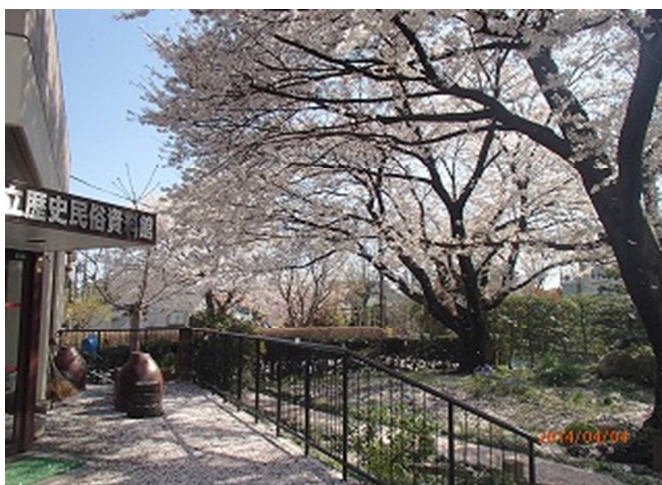
# にいざ 歴民だより



園庭でお花見を！



桜樹を觀賞しながら



抹茶でおもてなし！



夜桜をライトアップ！

**4月1日(土)・2日(日) 午後2時～4時** (呈茶・茶道お点前あり)

**午後5時～7時** (ライトアップ・呈茶あり)

歴民の園庭にある桜の大樹を觀賞しながら、テラスにて抹茶をいただきます。

なお、午後2時～4時は 琴の演奏 もあります。花鳥風月を味わいましょう。

(雨天時・強風時は、館内エントランスホールにてお茶をいただきます)

# 歴民の桜 桜の双樹

歴史民俗資料館が開館したのは、昭和56年11月。前年には園庭に、若木のソメイヨシノが2本植樹されました。当時は、直径が20センチほどの若い桜でしたが、今は幹周りが3メートルほどもあり、周りを包み込むかのような亭々と、そして堂々とした容姿は片山の名物です。

お隣の「片山一丁目児童遊園」にも2本の桜がその後、植樹されたので、併せて観賞すると、なかなかの見応えです。

今回初めての試みです、桜花乱舞する歴民の桜で、春の季節を感じてみませんか。

歩く・見る・聞く ②

## 桜



歴史民俗資料館の庭には日本の桜の代表と言われる二本のソメイヨシノが大樹になっています。

創立時に植樹した「染井吉野」は、江戸の染井村で植木職人等によって育成された観賞用の桜の代表種です。

奈良の吉野山にちなんで付けられた「吉野桜」とは異なる種の桜であることから、吉野山に多いヤマザクラと混同されないよう染井村の名を取り「染井吉野」と命名されました。

近年、植樹から四十年が経ち、ソメイヨシノ六十年寿命説が唱えられることもしばしばです。

しかし、全国にはソメイヨシノの老木が存在していることも事実です。

- 東京都小石川植物園の樹齢百四十年以上
- 青森県弘前城の樹齢百三十年以上
- 神奈川県秦野市小学校の樹齢百二十年以上
- 東京都砧公園の樹齢八十年以上 等々

私たちが楽しませてくれるソメイヨシノを六十年で絶やすわけにはいきません。まずは植えっぱなしにせずその状態を観察し、見続けることが肝要ですね。

### 身近なスポット

## 城跡を歩いてみませんか

武士発祥の地である武蔵国。特に戦乱の中心となった埼玉県には大小合わせて約500の城館があったとされています。残念なことに殆どが宅地化の波に呑まれてしまいましたが、運良く破壊をまぬがれた城跡もあります。

私たちの新座市には城館跡と呼べるものは現存していませんが、近隣の所沢市には、戦国時代に新座の地を治めたとされる「滝の城」(現・城山公園)。朝霞市には「岡の城」。富士見市には「難波田城」と身近な場所に城跡が遺されています。

一般に見学にも最も理想的な時期は、草が枯れ、遺構が見易い真冬とされていますが、前出の城址は公園や神社として整備されているため、通年訪問可能です。陽光うららかな春の一日、城跡を訪問し、往時の武蔵武士の活躍に思いを馳せるのも一興です。

また、4月～5月は関東各地で戦国時代をテーマとしたお祭りが数多く催されます。勇壮な武者行列や当時を再現した合戦などを見学するのも面白いかもしれません。